

ごあいさつ



山梨県テニス協会 会長

土屋 金藏

第29回関東実業団対抗テニスリーグ戦が、ここ山梨県甲府市の小瀬スポーツ公園テニスコートで開催されますことは、主管県といたしまして誠に光栄であり、皆様方の御来県を心から歓迎申し上げます。

山梨県は、昨年、富士山が世界遺産になったことによって、世界の宝である富士山を擁する富士の国となりました。また、NHK朝の連続テレビ小説「花子とアン」については、毎朝、富士山や勝沼ぶどう郷、甲州弁などが全国のお茶の間に紹介されていますが、今、まさに山梨ではお客様への「おもてなし」の機運が盛り上がり、このような時に本大会を開催できることは、真に時宜を得たところであります。

さて、山梨県は県土の78%を森林が占める「水と緑の宝庫」であり、「果樹王国やまなし」と言われるほど、ぶどうやもも等の様々な果物が育まれています。この豊かな自然環境の中で、日頃培われた力と技を遺憾なく発揮され、全国大会を目指してハイレベルの試合が展開されることを期待しております。また、この機会を通して親睦を深め、交流の輪が広がることを願っております。

本大会の開催に当たり、関東テニス協会をはじめ関係各位のご支援、ご協力にたいし、心から感謝の意を表しますとともに、代表実業団チーム選手皆様のご健闘と大会の盛会を祈念し歓迎のことばといたします。